



広報

しま

2008 (H20) 年度

予算特集号

Vol.80



施政方針	2～3
予算編成方針	3
会計別当初予算総括表	5
財政状況	6～9
目的別・性質別内訳	10～11
行政組織図	12～13
部別の主な事業	14～27

地域に根ざした暮らしを守り
やさしさあふれる未来を築くために

平成 20 年度

施政方針(要旨)



平成 20 年第 1 回志摩市議会定例会で、市長が述べた市政運営に関する基本的な考え方の要旨を掲載します。主要な施策の概要はここでは省略し、P 14 ～ 27 の「部別の主な事業」の中に掲載しました。

【国が求める地方財政の姿】

平成 20 年度の国の予算編成方針によると、厳しい地方財政の現状を踏まえ、歳出面では、全般にわたり国の取り組みと歩調をあわせて見直しを行い、地方の再生に向け知恵と工夫を活かした産業振興や地域活性化、安全安心な生活の確保などの施策に財源の重点的配分を図ることとしています。

歳入面においては、地方税負担の適正化と地方交付税などの確保を図り、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な措置を講じなければいけません。そのため、地方交付税および臨時財政対策債の増額、さらに別枠で地方再生対策費が国家予算に計上される事になっています。

志摩市は、これらを踏まえ、厳しい財政状況の中、市民との協働を図りながら、簡素で効率的な行政経営が展開できるまちづくりを目指して、行財政改革を推進していきます。

【市政運営における基本方針】

以下、平成 20 年度財政状況および当初予算の概要について申し上げます。

● 歳入

当市の基幹産業のうち、観光産業

にやや回復が見られますが、依然として景気回復は遅れぎみであり、市税などの自主財源の増は見込めない状況です。さらに依存財源では、先に述べました国による「地域再生対策費」のような救済措置も講じられているものの、地方交付税の増加が見込めない厳しい状況となっています。

また、合併による財政支援措置も、県の合併支援交付金は平成 23 年度まで、国の合併特例債も平成 26 年度までとなりました。

● 歳出

厳しい財政状況を踏まえ、経常経費のうち人件費・物件費・補助費は減少したものの、公債費や高齢者対策、医療費助成などの扶助費、さらには特別会計や企業会計、広域連合などへの繰出金は増加しています。

また、投資的経費につきましては、浜島町小学校建設事業による増はありますが、庁舎建設事業の減により全体では前年度と比べ減りました。

その結果、一般会計における予算総額は前年度当初予算と比較して 6・2% の減となりました。

なお、合併協議会で新市において優先的に実施すべきとされていた次の主な事業について、平成 20 年度予算をもって、すべて着手、また完了

することができました。

- ・ 浜島町小学校(仮称)建設事業
- ・ 船越保育所建設事業
- ・ 御座小学校改築工事
- ・ 堂岡岩出線道路改良事業
- ・ 御神田周辺整備事業



工事が進む堂岡岩出線(鶴方)道路

【本年度にかける想い】

本年は本庁舎も完成し、市政運営の真価が幅広く求められるものと認識しています。市政 4 年目に入った現在も、平成 17 年度就任後に述べた志摩への想いはいささかも変わりません。ここにその思いを再度述べたいと思います。

志摩市の歴史を紐解いて見ると、先人が多くの困難に立ち向かい努力された結果、今日の志摩があることを認識させられます。

敗戦直後の磯部村では、昭和21年に青壮年の32人が「磯部村新建設同志会」を結成し、敗戦で目標を見失っていた村民の心を強く打ちました。川崎市立日本家園には、大王町

船越の旧舞台「重要有形民俗文化財・安政4年（1857年）」が移築されています。この舞台は「若者組」という組織が建築・運営し、鬼瓦や軒にはいずれも「若」の字を表したそうです。また、明治時代、波切の石工は、北海道から九州まで進出し、護岸工事や港の建設にあたりました。最盛期には500人もいたそうです。浜島町南張では大正7年、当時4人の農業青年が新しい農業の途を求めて「園芸同志会」を結成しました。南張メロンの誕生です。

志摩町の石原円吉翁は、かつお節工場の設置など水産業は言うに及ばず、伊勢志摩国立公園の指定など八面六臂の活躍をし、今日までつながる地域の発展に大きな貢献をしました。

阿児町鵜方では大正8年、セイロン紅茶に対抗して、鵜方村協同製茶組合を175人の組合員で設立し、日の丸紅茶として名声を得ています。

そして今日、志摩びとによる多くのチャレンジが高い志をもって続けられています。

【おわりにあたり】

困難な状況にあると、とかく他人に責任を転嫁したり、愚痴をこぼしたりしがちになります。過去と他人

は変えられないけれど、自分と未来は変えることができます。志摩郡から志摩市へと私たちは自らの形を変えることを決意し、今、動き出しています。

愚痴から自治へ。偉大な先人たちに習い、「志摩の力」を大いに発揮し、「志摩の地から」より良い未来を創造すべく頑張りましょう。市民と行

政が互いにふるさとを想う気持ちを共有しつつ、英知を出し合い協働していけば、必ず志摩の未来に明るい展望が開けてくると確信しています。つきましては、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、議員の皆さま方にさらなるご協力とご賛同を賜りますようお願いし、施政方針とします。

平成20年度予算編成方針

1 予算編成の基本方針

志摩市のまちづくりは「住んでよし、訪れてよしの志摩市」を基本理念として、地域が抱えるさまざまな行政課題や問題点に対応するため、総合計画に基づいて、次の6つの将来像を基本目標として施策を推進します。

- | | |
|-----------|--------------|
| ① 環境の志 | 自然とともに生きる |
| ② 生活・安全の志 | 安全を保ち、快適に暮らす |
| ③ 地域経済の志 | まちを潤す |
| ④ 健康・福祉の志 | 人と命を大切にする |
| ⑤ 教育・文化の志 | 人を育て、ふるさとを誇る |
| ⑥ まちづくりの志 | 未来を拓く |

2 予算編成での留意点

予算の編成にあたっては、地方自治法と志摩市規則に基づき、主に次の点に留意して編成しました。

- 補助事業の選択 国・県の補助事業については、市の負担や起債、交付税財政措置などを十分に調査検討して事業を計画し、単独事業同様に経費の節減に努める。
- 外部委託 指定管理者制度が導入されていない施設についても積極的にアウトソーシングの拡大を図る。
- 投資と運営 将来における維持管理経費、更新経費など財政負担を慎重に検討し、単年度の資金収支にとらわれず投資と運営を総合的に判断する。
- 事務事業の見直し 全ての事務事業について徹底して見直しを行い、特に市単独予算で継続している事務事業については、必要最小限の見積額とする。
- 事業の創出と廃止 経済効果が期待される事業を始める場合は、旧来の事業を廃止または縮小するなどして財源を捻出する。
- 事業の縮減管理 新規、既存の事業とも事業効果を明確にし、事業の終期を設定するサンセット方式を取り入れ、社会的な環境の変化や事業の必要性を十分検討する。
- 行政の役割 事務事業の負担区分については、民間部門と公共部門の責任分野、役割分担を明確にする。

簡素で効率的な予算編成を目指しました

一般会計予算

232億 5,951万3千円

予算総額

419億 3,312万3千円

財政健全化への取り組み

平成20年度の志摩市一般会計予算ほか9特別会計予算と3企業会計予算が3月定例市議会で認められ、1年間の計画が動き出しました。

本年度、財政健全化にむけて市の掲げた方針は、「簡素で効率的な行政運営を目指し、限られた財源を有効に使う」です。そのために、まず取り組んだのはスクラップ・アンド・ビルドの促進。今までの予算に対して「本当にこれは必要か、もっと効率的なやり方はないか」などの観点から見直し、旧来の事業を廃止して、新たな事業を創出していく方法のことです。

次に取り組んだのは、人件費の抑制です。勸奨制度による職員数の削減や、特別職給与・管理職手当の減額を昨年度に引き続き実施しました。

その結果、一般会計予算は、前年度と比較して6.2%（15億2,744万8千円）減の232億5,951万3千円になりました。先にあげた財政健全化への取り組みの成果に加え、庁舎建設費用や病院増築・診療所開設などに伴う病院会計への負担金・出資金が減ったことが大きな要因と考えられます。

一般会計に、特別会計・企業会計を加えた予算総額は、419億3,312万3千円です。

会計別当初予算総括表

会 計 区 分		本年度予算額 (単位：千円)	対前年度当初比	
一 般 会 計		23,259,513	93.8%	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	7,723,215	100.1%	
	老人保健特別会計	663,504	11.5%	
	介護保険特別会計	4,117,027	107.7%	
	介護サービス事業特別会計	48,295	122.0%	
	下水道事業特別会計	420,009	94.0%	
	公共駐車場整備特別会計	2,510	109.4%	
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	33,777	90.6%	
	公共用地取得整備特別会計	73,456	100.0%	
	後期高齢者医療特別会計	956,063	皆増	
	小 計	14,037,856	78.5%	
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計		2,724,326	120.0%
		収益的支出	1,854,628	98.0%
		資本的支出	869,698	229.7%
	下 水 道 事 業 会 計		236,420	97.7%
		収益的支出	158,261	96.9%
		資本的支出	78,159	99.4%
	国 民 健 康 保 険 病 院 事 業 会 計		1,675,008	57.4%
		収益的支出	1,597,319	78.5%
		資本的支出	77,689	8.8%
	小 計	4,635,754	85.4%	
	志 摩 市 全 体 予 算 総 額		41,933,123	87.2%

用語解説

一般会計 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅している会計です

特別会計 特定の目的のために設けられた別会計で、特定の財源で事業を行います。市町村の実情に合わせて独自に持つことができます。志摩市は9つの特別会計を持っています

企業会計 会社などのように独立採算を基本として経営を行っている地方公営企業の会計です。志摩市では、水道事業、下水道事業、病院事業がこれに当たります

皆増(かいぞう) 新たに予算計上したもので、逆に事業完結などにより予算がなくなった場合は皆減といえます



一般会計における

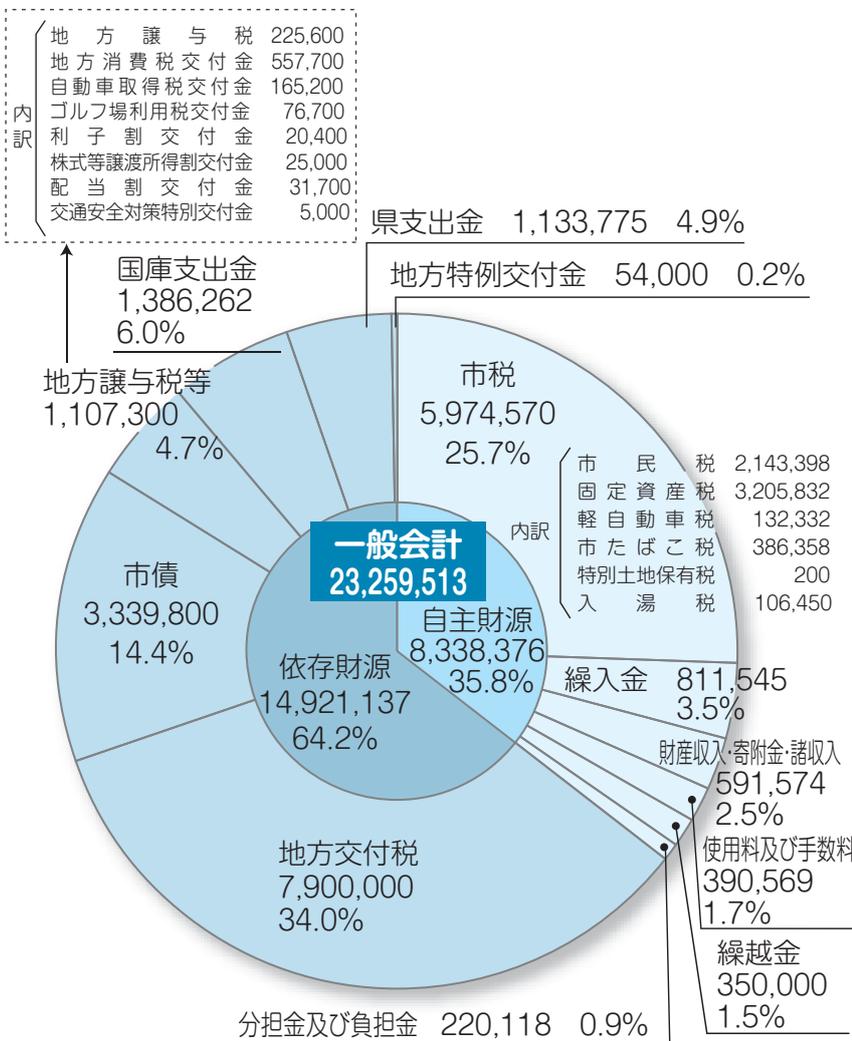
主なポイント

財源比率

自主財源 35.8%
依存財源 64.2%

歳入

(単位:千円)



歳入の概要

歳入予算は、自主財源と依存財源の2つの財源で構成されています。この2つの財源の本年度の比率は、自主財源が35・8%、依存財源が64・2%となっています。

自主財源とは、市税や使用料および手数料のように市が自主的に確保できる財源で、地方自治の自主性を高める上でこの割合が高いことが望まれます。歳入全体に占める市税収入の割合は25・7%で、昨年度当初比較で0・2%減っています。固定資産税や入湯税が増えたものの、市税やたばこ税で減少しているため

歳入用語解説

市税 市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・入湯税などの市が徴収できる税金で、歳入の25%余りを占める重要な財源です

分担金及び負担金 保育料や工事分担金などがこれにあたります

使用料及び手数料 市の公共施設使用料や市営住宅使用料などが使用料、住民票交付手数料や一般廃棄物処理手数料などが手数料にあたります

繰入金 各種の基金(預貯金)から一般会計へ繰り入れるお金。預貯金を下ろすようなものと考えてください

地方譲与税等各種交付金 国の目的税などを財源として、地方自治体へ交付されるお金です

地方交付税 地方自治体の財政力に応じて、国から配分されるお金。自治体間の財政格差を縮め、全国どこでも必要最低限の行政サービスが提供できるようにすることを目的とします

国庫支出金・県支出金 市が行う事業に対し、国や県が出す補助金・負担金・委託金で、使い道はあらかじめ決められています

市債 市の借金。一時的に大きな支出があるときや、将来にわたって市民にも負担するのがふさわしい事業等のために、決められた手続きで借入るお金です

す。

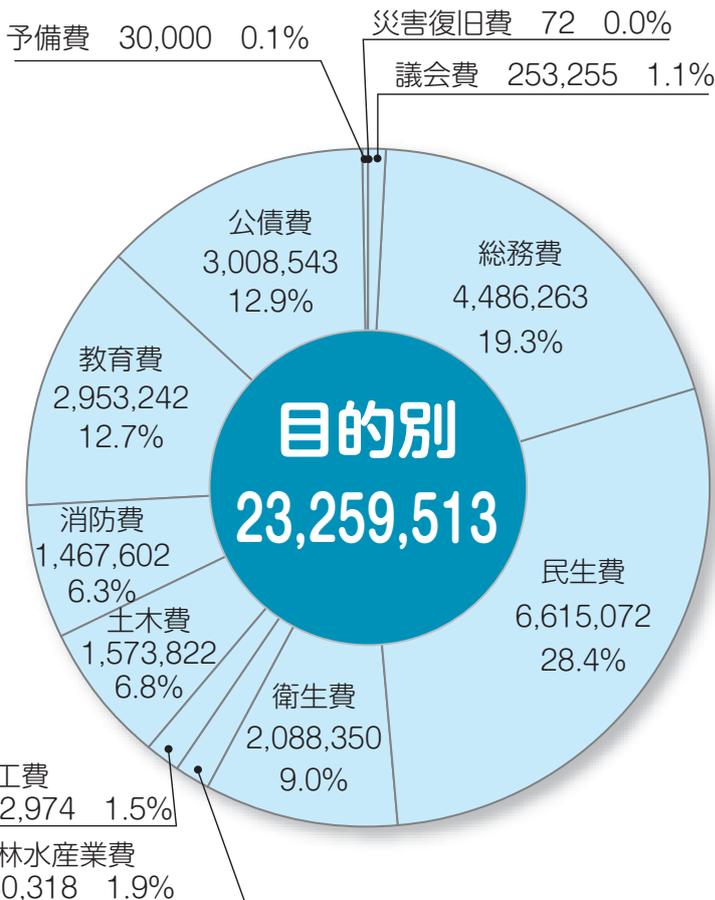
入湯税は主に、環境衛生施設の整備や、観光振興にあてられる目的税で、市が額を定めています。

次に依存財源とは、国や県から交付される補助金などの収入です。何のために使うべきか決められていることが多い依存財源ですが、地方交付税は自主財源である市税のように使い道に制限がありません。本年度地方交付税が歳入に占める割合は、34・0%となり昨年に比べ2・6%増えています。「地域再生対策費」のような国の救済措置が講じられた結果といえます。

歳出

(単位:千円)

目的別内訳



同じ歳出を

P 8



性質別内訳でみると……

■歳出の概要

歳出予算を目的別でみると、福祉関係や人権啓発などに使われる民生費が、66億1,507万2千円(28・4%)と、歳出に占める割合が昨年1番多かった総務費を抜きました。これは、この4月から介護老人保健施設「志摩の里」と前島診療所を外部委託するための費用が増えたことが主な要因です。

続いて、全般的な管理事務や必要経費などにあたる総務費が44億8,626万3千円(19・3%)、市の借金の返済に当てられる公債費が30億854万3千円(12・9%)の順となっています。

健康推進やごみ対策などに充てられる衛生費は、病院会計への負担や鳥羽志勢広域連合への分担金が減ったことにより、20億8,835万円(9・0%)と昨年より6億円近く減少しました。

教育に係る費用は、浜島町小学校(仮称)がいよいよ建設に取りかかることや、学校養護介助員の増員により29億5,324万2千円(12・7%)となっています。

歳出用語解説

- 議会費** 議会の運営などに使われる経費です
- 総務費** 全般的な管理事務や企画調整事務、財政・財務管理、徴税、選挙など行政運営に使われる経費です
- 民生費** 高齢者・障がい者・児童の福祉などに使われる経費です
- 衛生費** 健康で衛生的な生活環境を守るために、保健・医療・環境保全などに使われる経費です
- 農林水産業費** 農林水産業の振興を図るための支援や生活基盤整備などに使われる経費です
- 商工費** 中小企業の振興を図るための支援や観光振興に使われる経費です
- 土木費** 道路・公園の整備、市営住宅などの改良や維持管理に使われる経費です
- 消防費** 消防、救急、救助などに使われる経費です
- 教育費** 小中学校や幼稚園など教育施設の整備や運営、社会教育などに使われる経費です
- 公債費** 市の借金の返済に充てられる経費です
- 予備費** 不測の事態による予算不足に充てる予備的な経費です
- 災害復旧費** 災害によって生じた被害の緊急的な復旧に使われる経費です

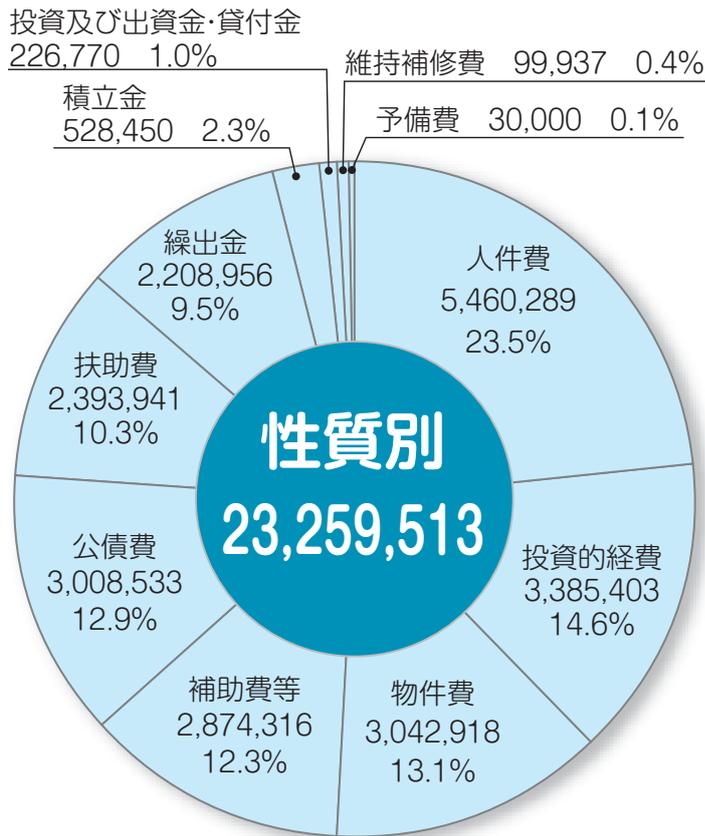
■性質別でみる歳出

歳出の性質別内訳とは、支出を経済的性質により分類したものです。例えば一般家庭で、1か月生活費を食費・水道代・燃料費・保険代などに分けるのに似ています。これに比

歳出

(単位:千円)

性質別内訳



べ、前ページの目的別は、「お父さんにかかる経費」「子どもにかかる経費」といった分け方です。それぞれの食費や洋服代では分けられない方法です。性質別で予算をみると人件費54億6,028万9千円(23.5%)と昨

年より3億1,510万4千円の減額となり、勧奨退職による職員数の削減を実施した成果が出ています。また、物件費も30億4,291万8千円(13.1%)と昨年に比べて1億5,448万4千円減っています。

■財源不足は基金の取り崩しで対応

一般会計の予算を組むにあたり、市税や交付税でまかなえない分は、基金を取り崩して対応しました。財政調整基金は、全体的な財源不足に充てるため5億8,700万円取り崩しました。また、減債基金や地域福祉基金など、特定の目的のために使われる基金も、使い途を考慮して必要額を取り崩しました。

性質別内訳用語解説

人件費 職員の給与や議員の報酬などの経費です

物件費 賃金や旅費、需用費など消費的性質の経費の総称です

扶助費 高齢者や児童などへの福祉サービスにかかる経費です

補助費等 補助金や負担金、火災・自動車損害保険料などの経費です

投資的経費 施設建設費や土地の購入費など経費支出の効果が、市の資産として将来的に残るものに支出する経費です

繰出金 一般会計から特別会計などへ支出される経費です

一般会計予算を、志摩市人口59,568人で割ってみると...

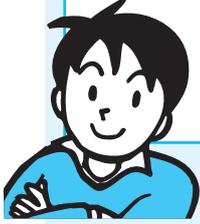


志摩さん一家の家計1年計画

志摩市の平成20年度予算を一般家庭に置き換えた場合の家計簿の状況は下のとおりです。
支出は、歳出の性質別内訳を基にしています。
家計の規模は便宜上、年間収入500万円として計算しています。

志摩さん一家

・志摩かつお
受験勉強に励む
中学3年生。
クラブ活動で運動
した日は、夕飯に
どんぶり2杯は食
べる。



・志摩あわび
大学2年生。親元を離
れ、一人暮らし中。
奨学金を受け、アルバ
イトをしてなるべく自
立した生活を送る。



・志摩えび子
観光サービス業で
働く43歳。
医療費の出費が
かさみ、家計の
やりくりが悩み。



・志摩ふぐ夫
水産関係の会社
に勤める43歳。
趣味はジョギング。
今年は、最近買った
大型テレビでのオリンピック
観戦を楽しみにしている。



・パール(ネコ)


前年の残金 75,238円	繰越金
貯金などの取り崩し 179,511円	財産収入、繰入金
パート収入 253,389円	分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金、諸収入
親からの援助 541,722円	国庫支出金、県支出金
借金 717,943円	市債
給料 3,232,197円	市税、地方譲与税等、地方特例交付金、地方交付税

収入

住宅・自動車の維持費 21,475円	維持補修費
貯金 120,058円	積立金、予備費
子どもへの仕送り 474,860円	繰出金
医療費・保険 514,608円	扶助費
リフォーム代金、家具、家電の購入 727,745円	投資的経費
ローンの返済 646,726円	公債費
交際費 666,630円	補助費等、投資及び出資金・貸付金
光熱水費・洋服代 654,119円	物件費
食費 1,173,779円	人件費

支出

志摩市の状況を「志摩さん一家」の家計に例えると

・性質別内訳

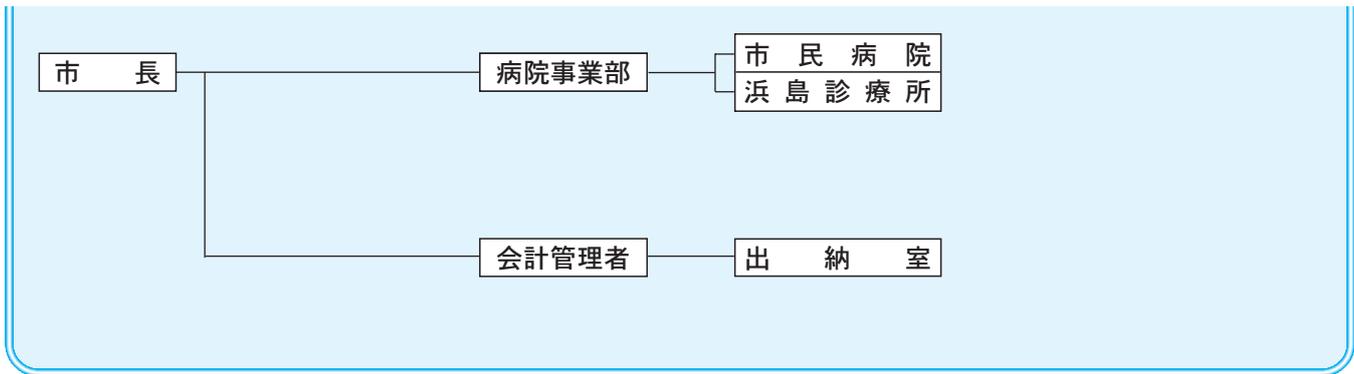
(単位:千円)

目 的 別						
土 木 費	消 防 費	教 育 費	災 害 復 旧 費	公 債 費	予 備 費	合 計
1,573,822	1,467,602	2,953,242	72	3,008,543	30,000	23,259,513
220,844	42,431	1,134,024				5,460,289
		49,033				2,393,941
				3,008,533		3,008,533
220,844	42,431	1,183,057		3,008,533		10,862,763
89,855	78,060	955,250		10		3,042,918
14,200	536	29,136				99,937
158,011	1,073,766	96,782				2,874,316
		22,498				528,450
		22,440				226,770
342,078						2,208,956
748,834	272,809	644,079	72			3,385,403
					30,000	30,000

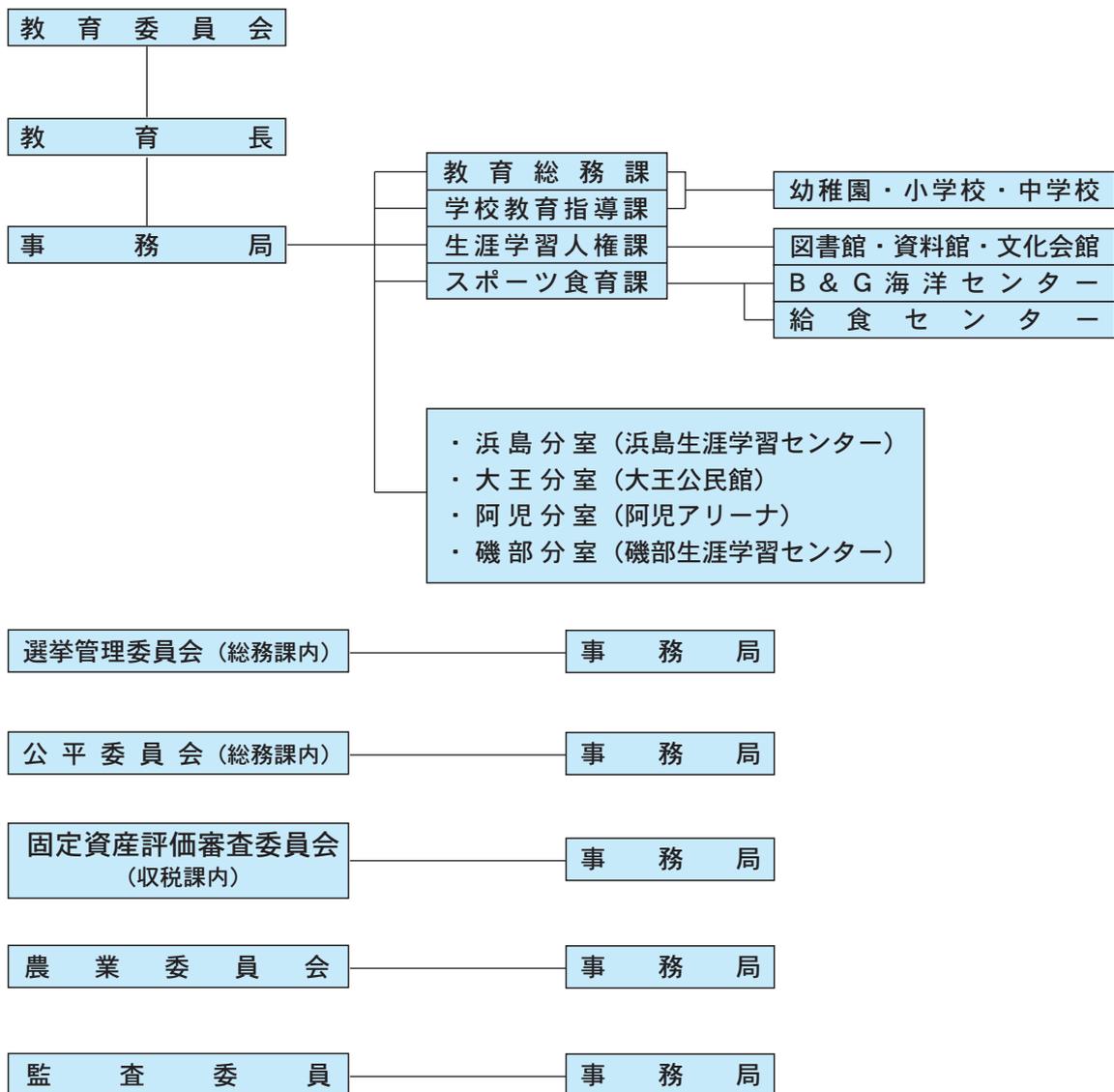
当初予算目的別

			目的別					
			議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
予算額			253,255	4,486,263	6,615,072	2,088,350	430,318	352,974
性質別 内訳	義務的経費	人件費	234,089	1,544,430	1,395,906	637,050	127,525	123,990
		扶助費			2,343,418	1,490		
		公債費						
		計	234,089	1,544,430	3,739,324	638,540	127,525	123,990
	物件費	11,806	679,478	420,867	613,374	93,565	100,653	
	維持補修費		16,864	3,117	27,317	5,522	3,245	
	補助費等	7,360	280,141	408,517	700,166	27,487	122,086	
	積立金		505,952					
	投資及び 出資金・ 貸付金		3,800	200,000		530		
	繰出金		73,456	1,793,422				
投資的経費		1,382,142	49,825	108,953	175,689	3,000		
予備費								

(平成 20 年 4 月 1 日現在)

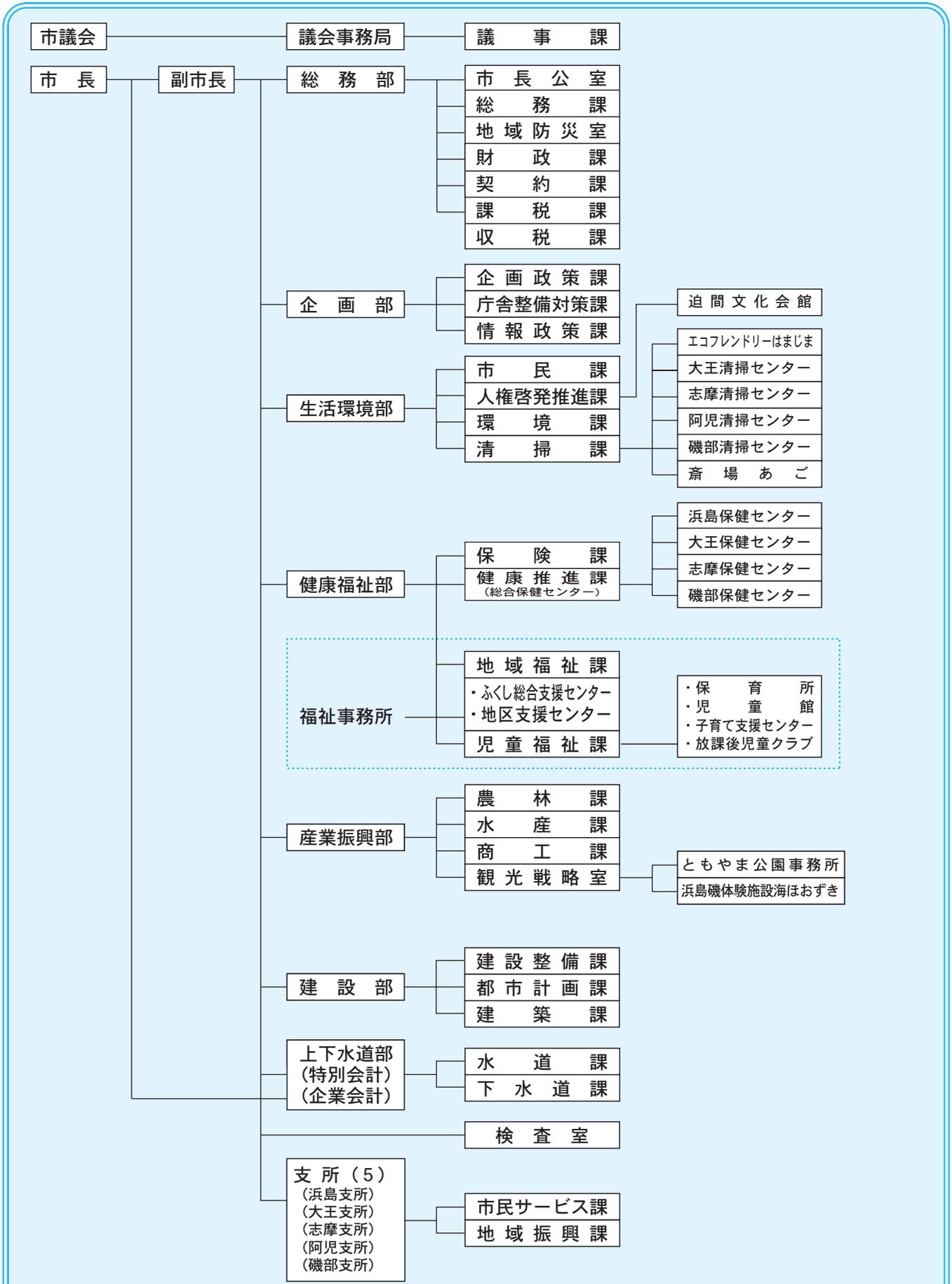


【行政委員会】



※市の施設であっても指定管理者が管理・運営を行っているものを除きます。

行政組



部別の主な事業

各部の主な事業を一覧にしました。

議会事務局

(単位は千円)
例：1,000 = 100万円

	事業名	予算額	説明
議会事務局	議会の録画放映	420	ケーブルテレビ6チャンネルで市議会の一般質問の様子を録画放送します。テレビという身近な媒体をとおして、市民に議会への興味や知識、理解を深めてもらい、市民参加による市政運営を目指すことを目的としています。
	会議録の調製および検索システムの委託	3,770	膨大な量の会議録をデータベース化し、閲覧・検索を可能にします。またインターネットを通じていつでも誰でも簡単に会議録を見られるようにします。
	政務調査費の支給	6,240	議員の調査研究活動基盤の充実を図るため、地方自治法や条例に基づき、議会における会派に対し政務調査費を交付します。 1人月額20,000円×26人×12か月

総務部

	事業名	予算額	説明
市長公室	行政番組の放送	33,240	毎月3種類の番組(動画10分1本・動画5分1本・静止画2本)制作してケーブルテレビ6チャンネルで放送するほか、文字情報で市の行事・催し物の案内をします。
	広報しまの発行	7,187	行政と市民のパイプ役となる広報紙を月2回発行します。
総務課	選挙人名簿のシステムによる管理	2,123	e-AD選挙システムを導入し、選挙登録や選挙執行時の事務の効率化を図ります。 また、支所の配置職員が減った後も引き続き各支所で期日前・不在者投票ができるよう、システムを導入します。
	選挙の執行	26,801	市長選挙 任期満了日：平成20年10月30日
		7,230	農業委員会委員選挙 任期満了日：平成20年7月19日
		5,826	三重海区漁業調整委員会委員選挙 任期満了日：平成20年8月14日
	4,804	浜島・塩屋・迫子各財産区議会議員選挙 任期満了日：平成20年5月7日	

財政課	志摩市地域振興基金の積立	300,000	スムーズな行政運営に役立てるほか、住民の一体感の醸成や地域の振興を積極的に行うための基金を積立して運用を図ります。
	新庁舎の維持管理	43,574	新庁舎の維持管理をします。7か月分の消耗品費や施設管理代などです。
契約課	総合評価方式発注支援業務の委託	1,969	総合評価方式による入札を実施するにあたり、的確な技術力の評価につなげるため、発注案件に応じた評価項目の提案や技術資料の取りまとめなどの支援業務を委託します。
地域防災室	小型動力ポンプ付積載車の購入	15,567	志摩方面隊（間崎地区）と阿児方面隊（安乗地区）にそれぞれ1台ずつ小型動力ポンプ付軽積載車を、浜島方面隊（浜島第2分団）に小型動力ポンプ付普通積載車を更新配備します。
	防災行政無線設備の整備	203,208	防災行政無線基本計画をもとに、防災行政無線設備にかかる周波数の統一とデジタル化を実施します。
	消防団用通信施設の整備	47,034	火災や地震時に消防団活動を確実・迅速に行うための通信手段として、団長・分団長および地域防災室、市役所各支所に消防団無線を配備します。
	災害時の備蓄食糧の購入	6,000	東海地震、東南海・南海地震が同時発生した場合の想定被害者数を基に、6万食の食料を4年間で備蓄します。今年度は17,253食購入します。
課税課	固定資産税にかかる土地評価	10,878	平成21年度固定資産税（土地）の評価替えに伴う路線価格を設定します。
収税課	インターネット公売事業	379	税の滞納者に対し、財産調査を実施するとともに、法律に基づいて不動産などを差し押さえます。その一部を、インターネットを利用して売却します。

企画部

	事業名	予算額	説明
庁舎整備対策課	志摩市庁舎建設	1,154,704	市民サービスや行政運営面での弊害を一日も早く解消するため、また、防災の拠点とするため、本年8月末日の完成を目指し、市役所新庁舎の建設工事を継続します。
企画政策課	あおさプロジェクト事業	3,744	志摩市のアオサ生産量は全国の3割を占めます。そのアオサをブランド化することによって、アオサ養殖業者の経営改善と、真珠養殖業者の転業または副業としての支援を行います。また、アオサ養殖・真珠養殖による二酸化炭素の吸収を通じ、環境保全型産業としての確立を目指します。

企 画 政 策 課 情 報 政 策 課	英虞湾指定航路確保のための補助	8,000	住民生活に不可欠な交通手段を確保するため、浜島・御座・賢島と和具・間崎・賢島航路の運航事業者へ補助します。
	志島循環バス業務の委託	18,605	住民生活に不可欠な交通手段を確保するため、鵜方（志摩病院）・志島間の循環バスを運行业者へ委託します。
	市民バス運行業務の委託	5,937	高齢者や子ども、障がい者など交通弱者の交通手段を確保するため、磯部町内を循環するバスを運行业者に委託します。
	磯部的矢線第3種生活路線維持のための補助	3,624	磯部駅・下之郷・飯浜・的矢間のバスを運行する事業者へ補助金を交付します。
	名田・畔名路線バス乗入れ運行への助成	4,743	住民生活に不可欠な交通手段を確保するため、御座路線の一部を名田・畔名地区へ乗り入れる運行业者に補助します。
	浜島港線バス運行業務の委託	3,822	住民生活に不可欠な路線であることから交通手段確保のため、廃止代替バスとして運行を委託します。
	郷土寿司による交流	1,000	志摩の郷土料理で、全国でも通用する料理となっている「てこね寿司」を通じた地域交流と志摩の食文化の情報発信を目的として、郷土寿司交流事業を実施します。
	志摩市活性化プロジェクト事業	4,070	平成19年度に実施した「志摩市活性化プロジェクト事業」を継続・発展させ、市民自らが「志摩」の活性化のために積極的に取り組む事業に対し、補助金を交付します。
	市民活動センター設置への補助	100	行政への市民参画やNPO団体やボランティア団体との協力を推進していくために、必要な市民活動センターの設置を補助します。
庁舎移転に伴う電算設備の移設	55,357	現在使用しているサーバやパソコンなどの電算設備を引き続き使用するために、新庁舎へ設備を移設します。ネットワーク配線と電源工事は庁舎建設工事の進捗よく状況に合わせて実施します。	



てこね寿司をアレンジした真珠寿司

郷土寿司による食文化の交流で「てこね寿司」を全国に発信します



産業と環境の両面で注目されるアオサ養殖

生活環境部

	事業名	予算額	説明
市民課	旅券（パスポート）の発給 	3,106	10月1日から、市民課で旅券（パスポート）の申請受付・交付を行う予定です。 年間1,200件の申請があるものと想定しています。
環境課	合併処理浄化槽設置の整備	85,009	生活排水による海や川の水質汚濁の防止を目的に、下水道処理区域以外の住居を対象として、合併処理浄化槽を設置する家庭にその費用の一部を補助します（年間220基を予定）。
	家庭用新エネルギー普及支援	530	環境・エネルギー問題に対する意識の高揚を図ることを目的に、太陽光発電など新エネルギーを導入する住宅を募集し、支援します。
	合併処理浄化槽設置推進調査 	12,572	美しい海や川を維持するため、市が合併処理浄化槽の設置主体となって、工事から保守管理まで円滑に実施、推進できるよう調査・検討します。対象は下水道整備区域以外の地域で、各戸に浄化槽設置スペースがあるかどうかなどを調査します。同時にPFI手法の導入も検討します。
英虞湾自然再生協議会の支援	718	英虞湾における環境問題を解決し、豊かな生態系と高い生産性を誇っていた自然環境を再生するために設立された英虞湾自然再生協議会の運営支援や連絡調整などを行います。	
清掃課	生ゴミ減量化対策への助成	2,160	ごみの減量化を推進するため、家庭用生ゴミ処理機の購入費用の一部を助成します。 ※購入金額(税抜)の2分の1、限度額3万円
	リサイクル事業の奨励 	1,262	ゴミ減量化施策の一環としてPTAやスポーツ少年団など各種団体が行う再生資源化物回収の集団活動を支援するため、リサイクル事業奨励金を交付します。
	RDF施設の消耗品取り替え	6,825	エコフレンドリーはまじま年次定期点検を行い、消耗している部品を取り換えます。
	廃棄物減量等推進審議会の開催	365	地球温暖化を防止し、ゴミの減量化を図るため、廃棄物減量等推進審議会でレジ袋の有料化とマイバック持参の推進について検討します。

健康福祉部

	事業名	予算額	説明
保 険	介護老人保健施設「志摩の里」・前島診療所施設の管理運営委託	440,000	志摩市介護老人保健施設「志摩の里」と前島診療所の指定管理者として、本年4月から(社)地域医療振興協会に運営管理を委託します。これにより、保健・医療・福祉の連携強化と一体的な運営体制の整備を図ります。
	後期高齢者医療特別会計への繰出金	615,858	75歳以上のすべての人が加入する後期高齢者医療制度が本年4月に施行されました。三重県では、三重県後期高齢者医療広域連合が保険者となり運営していきます。市はそのために必要な経費を負担金として特別会計に繰り出します。また、市町で行う徴収事務費なども、同じく一般会計から特別会計に繰り出します。
課	特定健康診査の実施 	88,056	生活習慣病を予防するためメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診、指導を行います。これまで、40歳以上のすべての市民を対象に「基本健康診査」として行ってきましたが、本年度からは、国保に加入する40歳以上74歳以下の市民を対象とします。社会保険などに加入する人は、それぞれの保険者が実施する健康診査を受診してください。
健 康 推 進 課	一次救急医療体制の整備	13,820	主に開業医である志摩医師会会員の医師が、県立志摩病院救急外来において、休日の応急診療業務を行えるよう、志摩医師会・県立志摩病院と委託契約し、一次救急医療体制を整備します。
	検（健）診の実施	48,954	がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮）を実施します。医療機関で個別に受ける「個別検診」と公共施設で受ける「集団検診」があります。検診率を上げるため、検診予定表を各戸に配布します。
	母子保健事業 	95,956	少子化対策の一環として、不妊治療費助成事業やすこやか親子育成支援事業、乳幼児の健康診査や健康相談、健康教育、定期予防接種を行います（1歳6か月児・ポリオ・BCG・3歳児健診、乳幼児健康相談、フォロー教室、3種混合・MR・2種混合・日本脳炎など個別予防接種）。
地 域 福 祉 課	障がい者の通所などの支援	5,070	身体障がい者が授産施設などへの通所により訓練やリハビリテーションを行う場合、一定の所得の要件を満たせば、日額180円を支給して障がい者の地域での自立生活を支援します。
	第2期障害福祉計画策定事業	1,979	国の定める基本指針に沿って、志摩市障害福祉計画第2期計画を定めます。現状把握・ヒアリング調査などを業務委託するほか、志摩市障害福祉計画策定委員会を開催し、内容を検討します。

地域福祉課	障がい者の地域生活の支援	38,849	障がいのある人が、自立した日常生活・社会生活を営めるよう、創作的活動などの機会の提供を行うほか、日常生活用具の給付、外出のための移動支援などを行います。 また、保護者や介護者からの相談に応じ必要な情報提供や手話通訳、要約筆記者の派遣などコミュニケーション支援などもこの事業に含みます。
	戦没者追悼式の開催	981	市主催の戦没者追悼式を、阿児アリーナで9月に開催する予定です。
ふくし総合支援センター	高齢者保健福祉計画策定事業	3,142 (1,571)	市の第4期介護保険事業計画(平成21年度～平成23年度)の見直しに合わせ、老人福祉法に規定する老人福祉計画も見直しを行い、第4期介護保険事業計画を一体のものとして作成します。介護事業にも関係するため。予算は介護保険特別会計と折半します。
	老人ホーム入所措置事業	144,932	65歳以上で、身体や精神上、環境上または経済的な理由で在宅での生活が困難な人が、養護老人ホームに入所するための費用です。
	長寿者への褒賞	3,733	社会の発展向上に貢献した高齢者を褒賞することで、市民の敬老精神の高揚と高齢者福祉の増進を図るため、87歳の人に1万円、100歳人には10万円の金品を授与します(基準日:9月1日)。
	老人クラブの育成	7,560	高齢者の生きがいと健康づくり活動を推進する自主的な組織の市老人クラブ連合会へ助成します。
	シルバー人材センターの育成	14,050	健康で働く意欲を持つ高齢者の知識や経験、技術を集結し、生きがいを見つけていこうと活動する(社)志摩市シルバー人材センター事業に補助します。高齢者の生活の充実や社会参加の増進を図ることで、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに貢献することを目的としています。
	介護予防・特定高齢者のための施策	68,073	生活機能評価や訪問活動を行い、主治医とも連携して高齢者の実態把握に努めます。 また、市が適当と認める事業所などに介護予防事業を委託します。 特定高齢者把握事業 通所型介護予防事業 訪問型介護予防事業 介護予防特定高齢者施策評価事業
介護予防・一般高齢者のための施策	5,975	高齢者全般に対し、介護予防に対する意識向上などの各種事業を行います。 介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業 介護予防一般高齢者施策評価事業	



ふ く し 総 合 支 援 セ ン タ ー	介護予防ケアマネジメントの実施	22,367	介護予防事業対象者に対して、アセスメント（聞き取り）を実施し、介護予防ケアマネジメントを行います。また、介護予防サービス実施後、事業内容を評価し、サービスの向上に努めます。
	総合相談支援	527	住民サービスの向上のため「ふくし総合支援センター」を活用し、医療・保健・福祉の関係機関との連携を強化し、付加価値を持たせた総合支援を展開します。
	権利擁護事業	444	高齢者に対する虐待を未然に防ぐため、情報収集や訪問を積極的に行うとともに、虐待防止ネットワークを構築し、危険性が高い人を早期発見することで適切な対応を図っていきます。また、その介護者や家族に対しても支援を行うとともに虐待防止の啓発を行います。
	包括的・継続的ケアマネジメント事業	404	介護支援専門員に対する日常的な個別指導・相談と支援困難事例への指導や助言を行います。また、地域の医療機関や関係施設、ボランティアなどとの連携・協力体制を整備し、包括的・継続的なケア体制を構築します。
	任意事業	18,414	要介護者を介護している家族や援護の必要な高齢者に対し、各種支援を行います。 介護給付費等費用適正化事業 家族介護教室 高齢者あんしん見守りネットワーク事業 家族介護継続支援事業 成年後見制度利用支援事業 高齢者緊急保護事業



志摩分庁舎の2階を改修し快適で安全な和具保育所を目指します



介護予防事業の一環として、紙風船を使ってほほや口の筋肉を鍛える皆さん

児 童 福 祉 課	病気の子どもの保育 	3,200	子どもが急な病気になったときなどに、保護者が病気や仕事などで、家庭で子どもを見られない場合、病院内の専用スペースでその子どもを預かります。
	ファミリー・サポート・センター事業の実施	2,216	育児に関して「援助してもらいたい人」と「援助したい人」が会員登録し、急な残業や休日出勤など、困った時に会員相互で助け合うファミリー・サポート・センターを運営します。会員同士の交流会・講習会なども開催します。

児 童 福 祉 課	育児支援のための家庭訪問	794	子育ての支援が必要なのに、一般の子育て支援サービスを利用することが難しい家庭を、ヘルパー・保健師・保育士などが訪問し、家事や育児を具体的に支援します。
	母子家庭の資格取得などによる自立支援	500	母子家庭の母が、指定教育訓練講座の受講や、資格取得のために養成機関などで受講する場合に、給付金や訓練促進費を支給し自立を図ります。
	和具保育所の整備	48,300	志摩市役所新庁舎の完成後、部署の移転により空室となる志摩分庁舎2階を和具保育所として使うため改修工事します。 保育室やトイレ、外部階段を設置します。
	次世代育成施設(船越地区)調査事業	1,000	大王町船越地区は、保育所の高台への移転と幼稚園の耐震補強工事の必要性、さらに児童数の減少などから、総合的にどのような施設のあり方が適当なのか、範囲・運営形態・場所・規模などを調査します。

産業振興部

	事業名	予算額	説明
農 林 課	農業生産者団体育成の補助	900	安全安心な農業を推進するための技術や共同作業用機器の導入、後継者不足の解消のための担い手対策など、農業生産団体の先進的な取り組みや技術導入に対して補助します。
	農地・水・環境保全のための向上対策の実施	1,136	「食料・農業・農村基本計画」に基づいて、農地・水・環境の良好な保全と質的な向上を図ります。
	地産地消産地化の推進	3,032	安全安心な農作物の生産と加工、地元消費の拡大を推進するため、農家や住民を対象とした地産地消産地化推進事業を行います。 各種果樹の栽培講習会やブルーベリー苗のあっせんなどを通じて、果樹の産地化を目指します。また、地域ブランドの「きんこ」の原料となる隼人芋の生産体制整備のため、ウイルスのない苗を育てるほか、オクラや葉付玉ねぎなどの産地化を目指すための新規生産者の育成を行います。食育に関する講演会とアグリスクールも開催します。
	獣害対策の実施	7,393	年々増加する農林産物の獣害被害を低減させるため電気柵設置などの対策を行います。
水産課	栽培漁業の推進  標識をつけたアワビの稚貝	10,620	漁協などが行うクルマエビやマダイ、アワビ、トラフグなどの種苗の放流を補助し、つくり育てる漁業を推進します。

水 産 課	英虞湾観測への補助	1,000	赤潮被害を防止するため、水温、溶存酸素量、プランクトン数などの海況観測に対して補助を行います。
	自動観測ブイ管理への補助	1,070	漁場環境を詳細に把握するために設置した自動観測ブイの管理業務に補助を行います。
	的矢湾漁場環境調査	836	的矢湾の底質調査を長期的に行い、その環境変動観測結果などを環境改善の基礎資料とします。
	名田漁港海岸保全施設の整備	20,050	大規模に崩落した天然護岸前面に消波ブロックを設置することで、波浪による更なる侵食を防ぎ、背後集落の防護を行い、地域住民の安心安全の確保を図ります。
	沿岸漁場の整備	8,106	安定した漁獲量を維持するため築いそによる漁場造成を行うほか、英虞湾へ底質改良剤の散布を行い漁場の環境の改善を図ります。
	安乗漁港の整備	47,000	陸揚げ作業などを行う際、漁業者等の労働負担の軽減および安全性を確保するため、浮棧橋の設置を行うとともに安全な船舶係留のため泊地しゅんせつを行います。
	和具漁港の整備	25,000	大型漁船の増加に伴い、入港の障害となっている湾口の消波ブロックを撤去します。また、荒天時における越波を防ぐため護岸のかさ上げをするほか港に面した道路の下部にある排水路の改良するなど、安全な港づくりを行います。
観 光 戦 略 室	志摩の観光プロデュース業務の委託	7,000	志摩の観光を総合的にプロデュースする業務を民間企業などに委託します。その専門知識やノウハウをいかして、観光振興に関する課題や問題点を探り、地域観光資源の特性や受け入れ体制に合わせたプランの立案、遂行、商品化などを行い誘客の増加を図ります。
	伊勢志摩キャンペーン事業への補助	4,000	志摩市と伊勢市・鳥羽市・三重県・近鉄などが広域でキャンペーンを実施することにより、観光客の誘致を図ります。
	志摩自然学校運営の委託	5,460	恵まれた志摩の自然や資源を活用し、自然体験プログラムを行う志摩自然学校では、新たな集客交流施策としての確立を図り、市民はもとより、修学旅行児童や家族旅行者を対象に体験型の学習事業を展開していきます。
	志摩市観光協会への補助	22,450	観光業の発展のために振興策を積極的に展開する志摩市観光協会を補助し、連携を図りながら、集客や誘致宣伝事業を行います。
	三重テレビ放送番組制作負担金	1,850	昨年に引き続き旅番組を通じて志摩市を紹介することにより、観光客の誘致を促進します。
	映画による志摩のまちづくり事業	1,000	映画を通じて、市民に映像文化の豊かさを伝え、さらに映画づくりのしくみや鑑賞法を学ぶことによりまちづくりの基礎とします。

	パークゴルフ場の整備	2,500	国府白浜休憩舎周辺にパークゴルフ場を増設します。
商工課	志摩市商工会への補助	26,280	地域の発展や商工業者の地位向上を目指し、意欲的な活動を展開する志摩市商工会に補助し、地域商工業の振興を図ります。



健康にも良く、市民はもちろん市外のお客さんにも大好評のパークゴルフ



高知や宮崎などの大型漁船の入港が多い和具漁港を改良し、水揚げ実績の向上を図ります。

建設部

	事業名	予算額	説明
建設整備課	道路の新設・改良（継続分）	100,060	継続事業として堂岡岩出線の整備をします。
	市道の新設・改良	178,098	市内全域の市道の整備を行います。
	道路の維持・管理	44,634	市道の除草作業や維持・修繕を行います。
	河川・排水路の改良	13,423	市内全域の準用・普通河川を整備します。また、市内3か所の排水処理施設の維持管理を行います。
都市計画課	都市計画マスタープランの策定	5,824	平成18年度から平成20年度までの3年間で、市の将来像や都市計画の基本的方向などを定める都市計画マスタープランを策定します。最終年度の今年度は全体構想のまとめ、地域別構想の策定などを行います。
	緑の基本計画の策定	5,573	平成19年度から平成20年度までの2年間で、市の緑地保全および緑化の推進などについて定める緑の基本計画を策定します。最終年度の今年度は、計画のとりまとめなどを行います。
	まちづくり交付金事業（平成17～21年度事業）	178,214	志摩地区県道東浦田線（通称・美珠通り）の冠水対策として、準用河川江田川を整備します。また、計画期間内に防災公園や市道の整備を予定しています。
	市営住宅の整備	8,500	市営住宅46団地588戸の管理および維持修繕を行います。
	地籍調査	27,931	阿児町立神地区、浜島町浜島・塩屋地区で地籍調査（準備調査含む）を実施します。

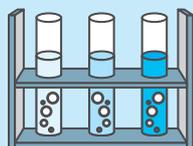
建 築 課	木造住宅耐震診断への支援	4,500	地震に対する木造住宅の安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを進めるため、昭和56年5月31日以前に着工・完成した市内の木造住宅を対象に無料耐震診断を行います(100棟を予定)。
	木造住宅耐震補強への補助	7,930	耐震診断を実施した市内の木造住宅で、耐震診断評点が0.7以下の木造住宅を1.0以上に補強した場合の経費を補助します(13棟を予定)。 ※補助基本額上限90万円、個人負担額1/3(補助基本額を超えると個人負担)

病院事業部

	事業名	予算額	説明
市民病院	市民病院の備品購入	30,169	市内の医療の充実を図るため介護入浴装置の設置やカルテ棚の取り付けなどを行い、より市民に有効活用されやすい医療環境の構築を図ります。

上下水道部

	事業名	予算額	説明
水 道 課	水道管路近代化推進事業(石綿セメント管更新)	339,780	東海、東南海、南海地震などの大規模地震に対する防災対策として、石綿セメント管から耐震管へ布設替えして安全快適な水の供給確保を図ります。
	緊急時給水拠点確保等事業(貯留施設整備)	186,125	東海、東南海、南海地震などの大規模地震に対する防災対策として、渡鹿野島内に緊急時給水拠点としての貯留施設を整備します。
	水道検針業務および料金徴収等の業務委託	67,200	水道業務の専門職員を有する業者に委託することでサービスの向上を図るとともに、給水停止を含めた滞納整理を行い、新たな未収を発生させないなどのきめ細かな対応を図ります。
	水道施設の拡張	60,900	未給水や配水管数の少ない箇所を中心に、国道・県道などの道路新設に伴い、将来の給水計画を考慮し、道路工事と並行して工事費の縮減を図りながら配水管の整備拡張をします。
下 水 道 課	都市下水路の整備 (平成16～23年度事業)	192,000	磯部町迫間・穴川地内の既認可水路の改築と、排水ポンプ設備の改築・新設を行い、浸水しないようにします。
	各処理場の維持管理	57,957	浄化センターの維持管理、汚泥脱水処理、流入・流出の水質検査、マンホールポンプの維持管理を業務委託します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 特定環境保全公共下水道事業 坂崎・的矢浄化センター 神明浄化センター 迫塩松浄化センター 船越浄化センター ● 漁業集落排水事業 安乗浄化センター ● 農業集落排水事業 立神浄化センター



	事業名	予算額	説明
浜島 ・ 大王 ・ 志摩 ・ 阿児 ・ 磯部 支所	自治会活動助成金の交付	69,438	コミュニティ活動を支援し、住民自治の発展を図ることを目的に、自治会組織に対し、助成金を交付します。 浜島 6,947 大王 9,524 志摩 15,124 阿児 24,302 磯部 13,480
	敬老会への補助	13,609	持続的な高齢者福祉事業の推進を図るため、各地区で敬老会を行う団体に対し、補助金を交付します。広報紙などで今年度中に敬老会事業を行う団体に補助金の申請を呼びかけます(補助額は、当該年度中に満70歳以上になる人口×850円)。 浜島 1,165 大王 1,921 志摩 3,117 阿児 3,706 磯部 1,835
	まつり・イベントへの補助	20,948	これまで地域に根ざしてきた住民総参加の「まつり」を引き続き行うことで、地域経済・産業・観光の振興と志摩市の活性化や繁栄を祈願し、市民が交流することで一体感を育みます。 ●伊勢えび祭 ●わらじ祭 ●大王ふれあい祭 ●あわび王国まつり ●大島祭 ●ええじゃんかまつり ●いそべまつり ●いそべの御神田
	浜島地区コミュニティセンター耐震診断委託料	1,964	浜島地区の公共施設の地震災害を最低限に抑えるため、十分な耐震性能を確保するための耐震診断を実施します。



初夏の訪れを告げる伊勢えび祭



畔名敬老会は平成20年度100回を迎えます

教育委員会

	事業名	予算額	説明
教育総務課	志摩高校通学専用バス運行への助成	240	志摩地区から志摩高校へ通学する学生の通学手段確保のため、専用バスの運行业者へ運行経費の一部を助成します。
	伊勢通学専用バス運行への助成	1,292	志摩市から伊勢方面の学校へ通学する学生の通学手段を確保するため、専用バスの運行业者へ運行経費の一部を助成します。
	浜島町小学校（仮称）校舎等の建設	523,126	平成20年度から21年度の2か年にわたり浜島町小学校（仮称）の校舎等の建設工事を実施します。
	学校建物の耐震補強計画策定	8,100	構造上危険な学校校舎などの調査を行い、改築・大規模改造の計画を策定します。
学校教育指導課	授業研究指定校事業	380	教科の基礎的・基本的な知識や技能を定着させるため、志摩市における授業研究校を指定します。
	学校情報化基盤整備事業	48,700	市内の小中学校における校務・教務の情報の共有化を図るとともに、個人情報の管理環境の整備による情報セキュリティの向上を図ります。
	障がい児支援の介助員等配置事業	95,887	市内の幼稚園・小中学校における障がいのある幼児・児童・生徒への生活面・学習面での支援を行うために介助員を配置します。
生涯学習人権課	奉仕活動・体験活動の推進	530	地域の教育力の向上と子どもたちへ多様な体験活動などの機会を提供するため、協議会を組織し事業を展開します。
	放課後子ども教室の推進	921	総合的な放課後対策事業として、地域のボランティアなどの協力を得て文化活動やスポーツ、交流活動など放課後子ども教室を実施します。
	文化財修繕事業の補助	400	国指定重要無形民俗文化財「安乗の人形芝居」で使用される備品や施設の修繕事業に対する補助を行います。
	御神田周辺の整備	38,729	日本三大御田植祭であり国の重要無形民俗文化財である「磯部の御神田」の周辺整備を行い、歴史的遺産・文化財を活用した地域づくりを推進します。
	青少年育成市民会議への補助	4,000	青少年関連の問題の重要性を深く認識し、次代を担う青少年の健全育成活動を推進するため関係機関および団体に対し補助を行います。
	図書館情報ネットワークシステムの管理運営	8,240	昨年度構築された図書館情報ネットワークシステムの有効活用を図るための管理運営を行います。

生涯学習 人権課	人権感覚あふれる学校づくり支援	960	各中学校区を単位として、校区内連携を図る代表校を定め、人権・同和教育の実践および研修活動に必要な経費の一部を補助します。
	志摩市人権講座の開催	131	住民主体の人権教育を推進するため、地域や職場における人権教育を重視し、啓発組織育成などのための講座を実施します。
スポーツ 食育 課	新体操普及教室	303	2009年開催の世界新体操選手権大会三重県大会関連事業として新体操の普及を目的とした教室を開催します。
	志摩市スポーツ振興計画策定	593	市内すべてを考慮した体系的かつ計画的なスポーツ振興施策を推進し、誰もが気軽にスポーツを楽しめるスポーツ振興計画を策定します。
	スポーツ講演会および実技指導	1,300	プロのバレーボールチームを招いて、実技を含めた指導をしてもらいます。
	美し国三重市町対抗駅伝志摩市選抜チームの支援	1,000	県内各市町間の交流と一体化などを目的に、昨年度から行われている美し国三重市町対抗駅伝に参加する志摩市選抜チームを支援します。
	総合型地域スポーツクラブへの補助	5,000	浜島・志摩地区のスポーツ活動における新たな環境づくりと青少年の健全育成、地区住民の健全な心身の保持増進、豊かなコミュニケーションづくりに寄与することを目的とします。
	磯部ふれあい公園および磯部プール指定管理委託	22,000	磯部ふれあい公園および磯部プールの業務を民間委託します。
	学校給食における学校・家庭・地域の連携推進事業	900	学校・家庭・地域の三者が連携して、学校給食を通じ、児童・生徒が生涯を通じて健康に過ごすための望ましい食生活の在り方についての実践研究を行います。



本年度建設に着手する浜島町小学校（仮称）の完成予想図

志摩市行政機構

※平成20年4月1日現在

●各支所には市民サービス課と地域振興課を配置

●教育委員会

浜島分室…浜島生涯学習センター
大王分室…大王公民館
阿児分室…阿児アリーナ
磯部分室…磯部生涯学習センター



磯部分庁舎

☎ (0599) 55・0026

生活環境部
磯部支所

※上下水道部は磯部農業就業改善センター内



浜島分庁舎

☎ (0599) 53・1111

産業振興部
浜島支所



阿児分庁舎

☎ (0599) 43・0711

総務部
(課税課・収税課)
健康福祉部
阿児支所

本庁舎 (県志摩庁舎4階)

☎ (0599) 44・0001

総務部
企画部
産業振興部
(観光戦略室)
検査室

志摩分庁舎

☎ (0599) 85・1111

議会事務局
教育委員会
志摩支所

※生涯学習人権課は志摩文化会館内



大王分庁舎

☎ (0599) 72・0255

建設部
大王支所

※病院事業部は市民病院内



編集・発行：志摩市 市長公室
〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098番地9
☎ (0599) 44・0200 ☎ (0599) 44・5252
【Home Page】 <http://www.city.shima.mie.jp/>
【E-mail】 kikakukoho@city.shima.mie.jp

◎広報しまへのご感想・ご意見をお寄せください。